



# 密姫伝

TOUKIDEN

— 卷之貳 —

HELLABUNNA GIANT COMICS 47  
TOUKIDEN Vol. 2 ADULT ONLY

成人向

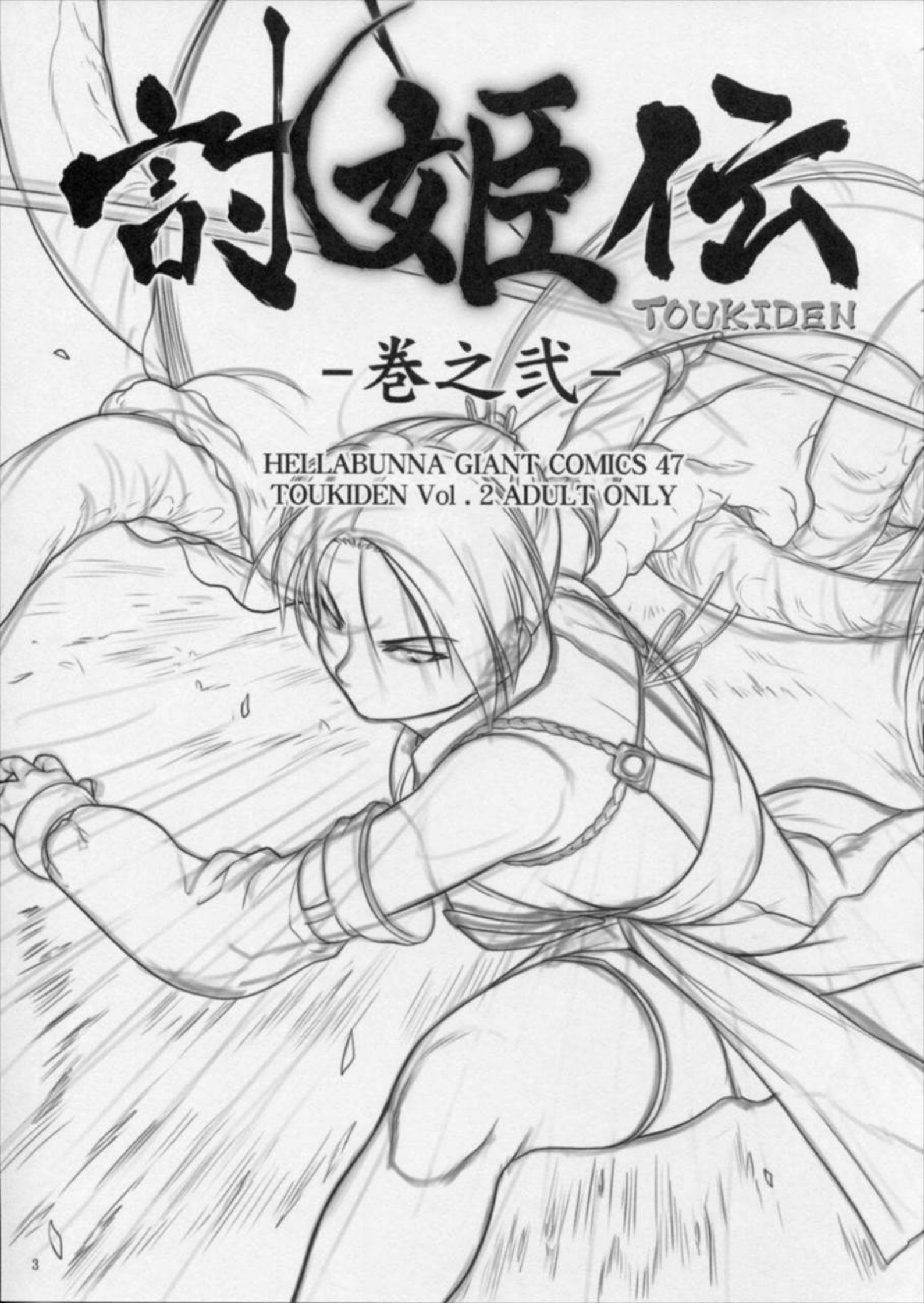


# 闘姫伝

TOUKIDEN

— 卷之貳 —

HELLABUNNA GIANT COMICS 47  
TOUKIDEN Vol. 2 ADULT ONLY





# 討姫伝

TOUKIDEN

## - 卷之貳 -

卷之貳 …… 7

追記 …… 60

付録 …… 62

後書 …… 63





討姫伝  
TOUKIDEN  
-卷之貳-

ふん：  
この辺りの鬼を  
狩り廻してる者が  
おると聞いたが

……ぐっ

う……う

おん

こんな小娘の匂いも  
抜けきっていない  
牝一匹とはな

ぐ……  
おん

少しは手応えの  
ある輩かと  
勇んで来てみれば

んぐっ  
うっ

これでは  
拍子抜けも  
いいところだが

おん



まあよい…

これでも  
鬼祓いの巫女には  
違いあるまい

貴様らに  
打ち倒された  
はらからの帳みは

く…

その身に憐わせて  
やるとしよう

貴様の  
生娘の秘肉にな

や…あつ

うへっ







キサ…  
…マツ





大丈夫ですか?  
かすみ...





もう…  
ダメですよ  
こんな所まで  
一人で…



ありがとう…  
紅葉さん

立てますか？

はい  
大丈夫…



ごめんなさい  
紅葉さん

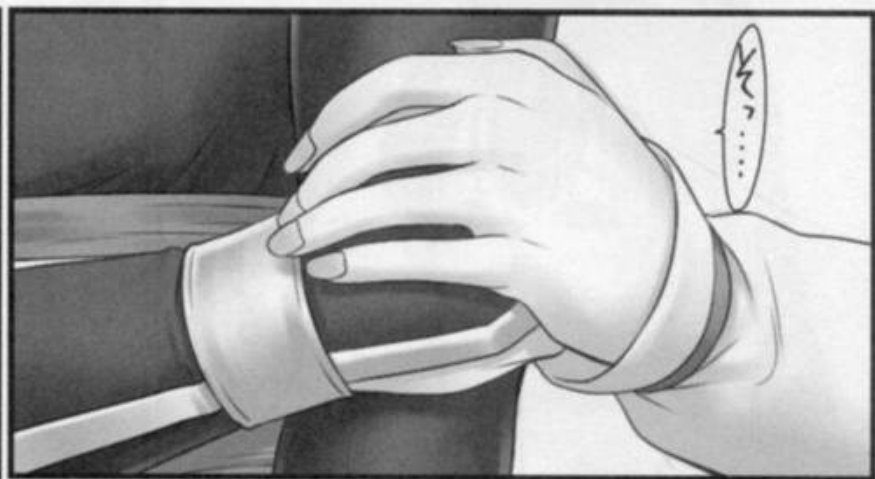
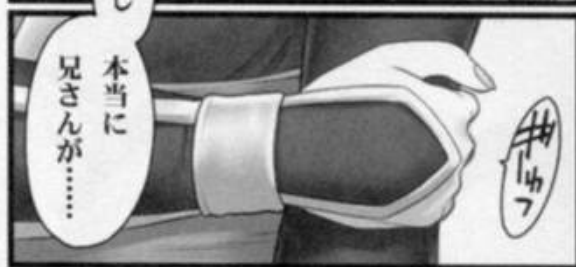


—でも



貴女は…  
……時期頭首  
なんですから







ハヤテ  
頭領様は必ず  
戻ってきますわ

私も…里の皆も  
信じてます

必ず…此度の禍根を  
突き止めて里に戻ると

だから私達は  
里を守りましょう

あの方が  
戻られた時に皆で  
迎えられるように

それまで誰も  
失う事のない  
ように

……そうですね



ふふっ



ありがとう  
紅葉さん

少し…  
落ち着きました



さあ 里に  
戻りましょう

大きな  
鬼の気配は  
ないけれど  
この辺りは  
危険です



ええ

土地そのものが  
穢されてる  
ような

フム



そうですね

まるで…土に  
瘴気が浸み込んで  
いるみたい…







あれしきで  
討ち倒したと  
思うたか

腕前は  
確かのようなが  
まだ若いのう



カッ...



カッ!!



そんなっ...

確かに...  
手応えは  
あった...のにつ



これ程に  
刻まれたのは  
不覺だったがな

この傷の  
痛みは—



貴様を慰み物にして  
晴らすとしよう

や……

離しなさいっ

やっ……

鬚り甲斐のある  
体をしておるわ

逆巻せい

じっくりと  
楽しみながら  
辱めてやるぞ

や……め

くうっ

やっ……

離し……なさいっ

やめなさいっ

いや……  
んっ





やめなさいっ

あつ

やめ...  
あつ

やめ...

いやっ  
あつ

や...

生意気な口を  
きいておつても  
所詮は女  
慰み物にされる  
屈辱は耐えがたい  
であろう？

や...

あつ...  
あつ

あつ

あつ



こんな…無礼っ  
許さないわよっ

はあっ

はあっ

うっ…く

大人しそうな  
顔をしておるが  
中々に気丈な女よの

だが—

この小娘は  
どうかな

いい声で鳴きよる  
貴様より余程  
鬨り甲斐がありそう  
だぞ？

かすみっ  
やめなさいっ  
かすみには  
手を出さな…



覚悟はいいか？  
二人まとめてたっぷりと  
縛り尽くしてくる

嫌あ

やめ…てっ

かすみにはっ

手を…  
出さないでっ

くうっ

うっ

や…

ガク

ガク

ガク

ガク

グググ

グググ

グググ

グググ

グググ

グググ

グググ

グググ

グググ

グググ

グググ

グググ

グググ

グググ

グググ

グググ

グググ

グググ

グググ

グググ

グググ

グググ

グググ

グググ

グググ

グググ

グググ



貴方に…傷を負わせたのは私ですっ

鬪るのなら私をつ……

……っ

私を慰み物にして……くださいっ



だ…め紅葉さ

ほう  
余程この小娘が大事と見える

自ら身代わりになると云うか



よかろう

救え…

そうまで云うなら——



甘あ…







ん...う

んくっ...

んくっ...

喉までしっかりと  
啜え込んでしこけい

そんな弱々しい  
ねぶり方では  
物足りぬわ



いいぞ  
いい具合だっ

褒美にたっぷり  
鬼の精を  
飲ませてやる





折角飲ませて  
やったのに  
吐き出しおって

飲みきれぬなら  
乳房を寄せて  
受け止めろっ

……  
……



ようし……  
自分の手で糖液を  
しっかりと肌  
に  
刷り込め



糖つき鬼に  
穢された屈辱を

身を清めても  
決して忘れられぬ  
ようにな

う……  
い……や



一滴たりとも  
地に落とすで  
ないぞっ

う……う







う……

はあ……

はあ

はあ

はあ

はあ

私の陰茎は  
貴様の口では  
啜えきれんな  
乳房に奉仕  
させてやろう

雌牛の如き  
立派な乳にな  
う……

はあ……



う……

しっかり挟んで  
搾りまわせよ

いや……あ

はあ……

貴様一人で鬼を  
満足させようと  
云うのなら

全身くまなく  
使って奉仕せねば  
到底最後まで  
身がもたぬぞ

はあ……

う……

はあ

はあ



うっ……や……や

はぁっ

ハァー  
いいぞ  
立派な物を  
ぶら下げてる  
だけあって

は……あっ

はぁっ

乳房の奉仕は  
大した具合だぞ

はぁっ

はぁっ

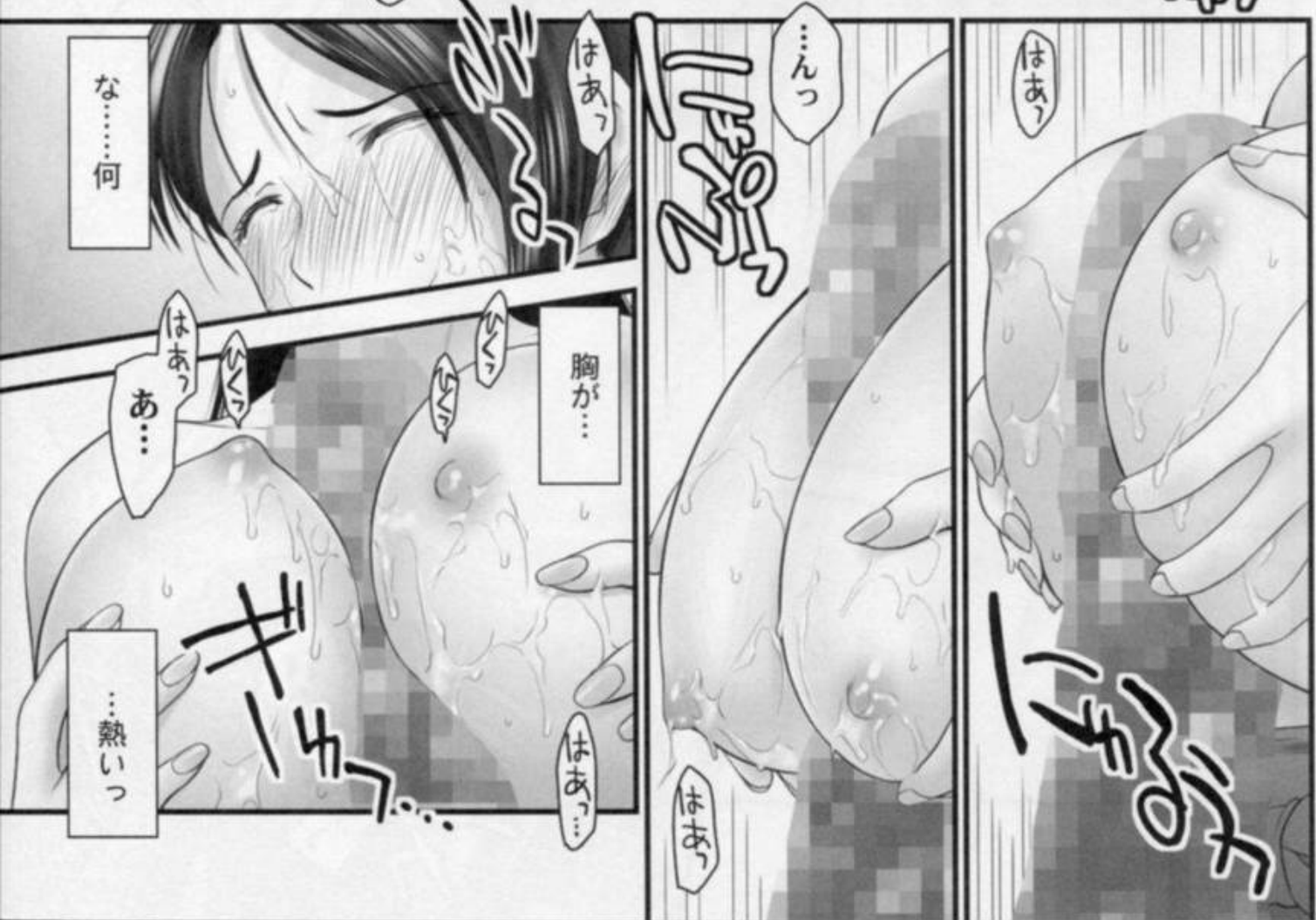
あち  
あち

はぁっ

はぁっ

はぁっ

はぁっ



な……何

はぁっ

……んっ

はぁっ

胸が……

はぁっ  
あ……

……熱いっ

はぁっ……

はぁっ

はぁっ



どうして…  
こんなっ

…感じ…てっ

っ…

キウキウ

いやあ

鬼の精液は  
女の肉欲を数倍にも  
昂ぶらせるのでな

あ

よく刷り込んだ  
おかげで乳房が  
驚くほど淫らに  
なっております？

やめ…てっ

キウキウ

キウキウ

あ

キウキウ

キウキウ

さあ…よく感じる  
乳房でよがりながら  
奉仕を続けるがいい

う…う

はあ

はあ

キウキウ

い…あ

キウキウ



いやあ

おのの  
おへんらして

乳房だけでまるで  
女陰をかき回されるが  
如くのがり様だな

たふふ

たふふ

たふふ





念入りに  
刷り込んだおかげで  
乳首がまるで淫核の  
如く感じるであろう？

いや  
ため

それ 自分の手で  
肉棒に擦り付けて  
しこき上げい

はしたない声で  
鳴きよるわ

これではどちらが  
横はせてやってるのか  
わからんわ

ほろ  
乳だけで  
果てよった

なんとも淫らな  
巫女殿だの





何を呆けておる  
次の奉仕をせぬか

ん…う  
は…



だ…めえ  
これ以上つ  
胸は…

は…

どうか…

は…



は…

は…

は…

ふん たった一度  
果てた程度で  
根をあげるか

乳房で  
出来ぬと  
云うのならは

もっと大事な  
女の穴を  
縫ってやるぞ

嫌女嫌女嫌女

カ

カ

中々可愛いらしい  
ナリをしておる

いやあ

無理にでも  
捻じ込んで  
くれるかな

カ

いやあ  
いやあ  
いやあ

こんな小さな  
穴では我が  
陰茎はおろか

肉の根ですら  
啜えきれるか  
どうか

にや

カ

嫌女嫌女嫌女





いやあ  
ああ

ほう  
すんなり  
啞えよった

使い込んで  
おらぬ様だが

この感触...貴様  
生娘ではないな

巫女の分際で  
男を知っておるとはな

ならば  
少々の事で壊れる  
心配もいるまい

肉壺を存分に  
かき回して  
くれよう

鬼に犯された  
様子もないと  
するこ

標を守らねば  
ならぬ身でありながら  
男をたらしこみ  
よったか  
全くふしだらな  
女よの







悦んではかり  
おらぬで上の  
口でも奉仕せい

穴一つでは  
到底足りんぞっ

オオオオオオ  
オオオオオオ

オオオオオオ  
オオオオオオ

オオオオオオ  
オオオオオオ

オオオオ  
オオオオ

オオオ  
オオオ

オオオ  
オオオ

オオオオ  
オオオオ

オオオオ  
オオオオ

オオオ  
オオオ

オオオ  
オオオ

オオオ  
オオオ



ふふ...

やめ...

やめ...

やめ...

やめ...

フシ

貴様の  
身代わりになると  
自ら申し出たのだ

うぐっ

よく見ておけ

鬼祓いの巫女などと  
粹がって我らに  
仇なさば

やめ...

やめ...

やめ...

いかな目に  
遭うのかをな

やめてえ...

お願い...

やめ...



貴様の為に  
鬩られておるのを  
黙って見ておれぬと  
云うのなら

貴様にも  
手伝わせて  
やろうか

やめてっ

や...

はあ

い...  
あ



小娘を  
気遣う余裕が  
出てきたか  
少しは  
こなれて  
きおったか

お願いっ

あ

かすみに...は

やめてください...

あ  
あ  
あ

よい ならば  
肉根といわず  
我が肉茎を啜え  
させてやろう

ん...  
はあ

自ら跨って  
奉仕してみせい

手を  
出さな...  
い...でっ

かくかく  
あ  
あ  
あ

あ  
あ  
あ

あ  
あ  
あ



う...う  
はあ

はあ...

これで  
満足させられたら  
小娘は無事に帰して  
やるとしよう

ん……う

ムキムキ



だ…めえ

こんな…

大きなのっ

入らな…いつ

どうした？よもや  
小娘にやらせる  
気ではあるまい？

はあ？

だ…めっ

だ…め  
せめてっ

かすみ…だけは  
無事…でっ







割れ目を  
目一杯に開いて  
飲み込みよった

いいぞ...さあ  
尻を振って  
肉壺で刷り上げい

入れただけで満足すると思っただか

貴様がやらねば小娘が嬲られるのだぞ

い...や

だ...めえ

う...ム

女が女が

女が女が

女が女が

女が女が

女が女が

女が女が

女が女が

女が女が

女が女が

女が女が

女が女が

女が女が







どうだ 鬼の肉棒は  
人間のオスなどは  
比べ物にならないだろう

この味を知ったら  
人間同士のまくわい  
なぞでは決して  
満足できぬ身と  
なるぞ





そうだと  
遠いつくばって  
腰を突き出せ

あ  
あ  
あ

ハハハ  
いい給好だぞ  
尻の穴まで  
丸見えにして  
腰を振っておる

いやあ

なんとも  
はしたない  
巫女殿だ

あ  
あ  
あ

あ  
あ  
あ





嫌々云いながら  
しっかり腰を振り  
続けおる

鬼の肉棒が  
すっかり気に  
入ったようだな

ぬい  
ぬい  
ぬい

ぬい  
ぬい



貴様のいやらしい  
牝穴が美味そうに  
肉棒をしゃぶる様をな

股ぐら開いて  
小嬢によく  
見せつけてやれ

ぬい  
ぬい

ぬい  
ぬい

そんな…  
恥ずかし…い

い…やあ



もっと大きく  
股を開け

女の悦びを  
齧ってる様を  
見せつけい

そんなっ





見ない…でえ

かす…み

お願いっ  
見ないでえ

しかと  
見やれ小娘

ぐちゃぐちゃ

つい先程迄  
気丈に振舞って  
おった巫女殿が

牝の本性  
剥き出して  
よがり狂っておる

意地を張ろうと  
所詮は女よの

見な…  
いでえ

うう…

いや…

ぐちゃぐちゃ



いいぞ  
いい腰使いだ  
すっかり  
奉仕の心が  
身についたか

ようし…  
褒美に穴の中に  
我が精をたっぷりと  
くれてやろう

鬼の精を溶びれば  
どうなるか乳房で  
思い知ったろうが





鬼の精を膣に  
注ぎ込まれたら

それだけは  
やめてっ  
お願いっ

だめっ  
それだけはっ

めんめんめん

めんめんめん

めんめんめん

乳房などとは  
比べ物にならぬ  
悦びを味わえるぞ



女の大事な穴の  
肉壁の隅々までっ

やめっ  
めんめんめん

しっかり  
染み込ませて  
やるぞっ

じっくり  
味わえい

だめ  
だめめんめんめん

めんめんめん

めんめん

めんめん









正気を保ったまま  
最後まで耐えるとは  
大したものだ

だが

たった一度で  
満足するなど  
思わないよ

まだまだ  
注ぎ込んでやらねば  
気が済まぬわ

は……  
も……う  
や……あ



……っ



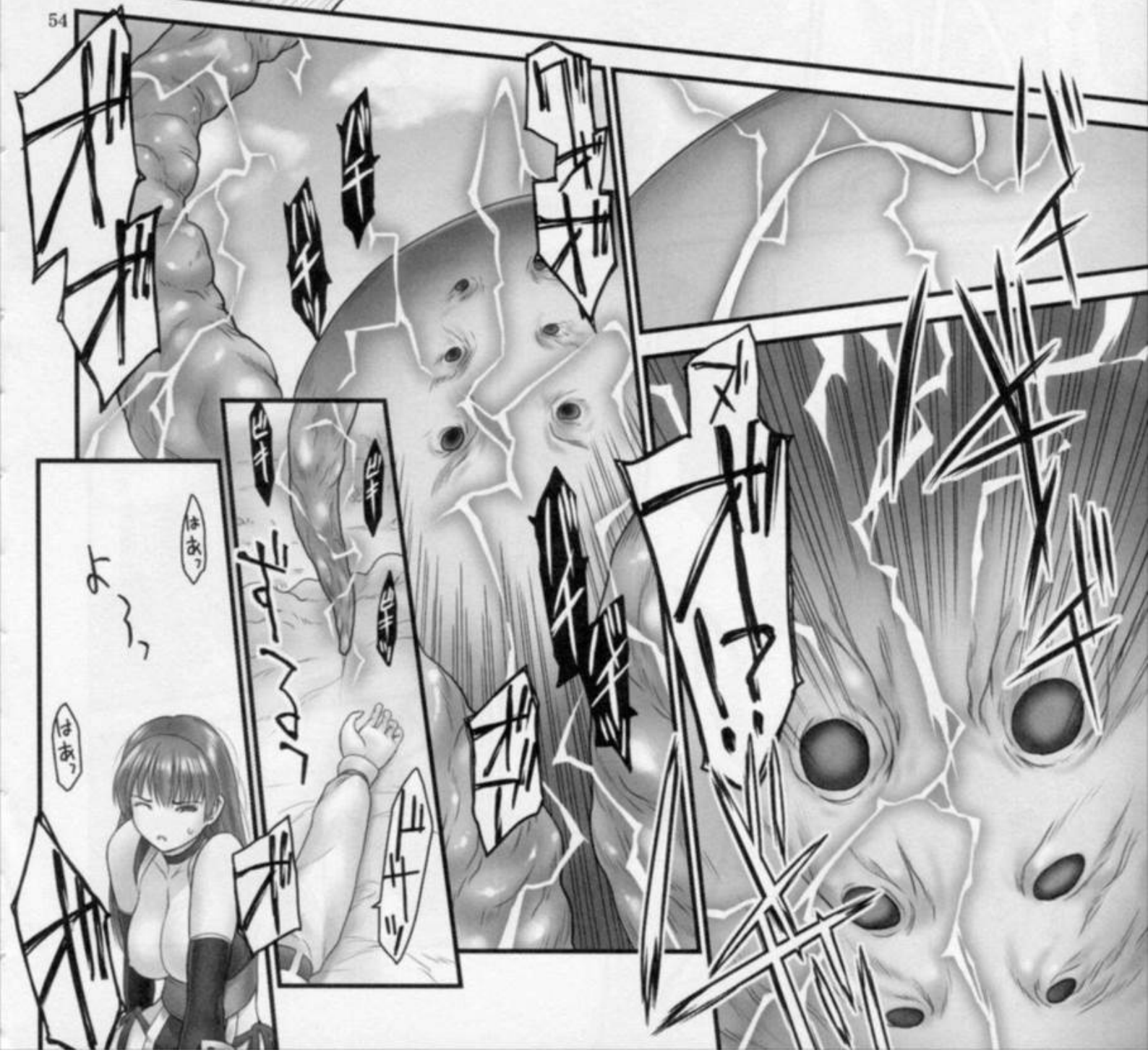
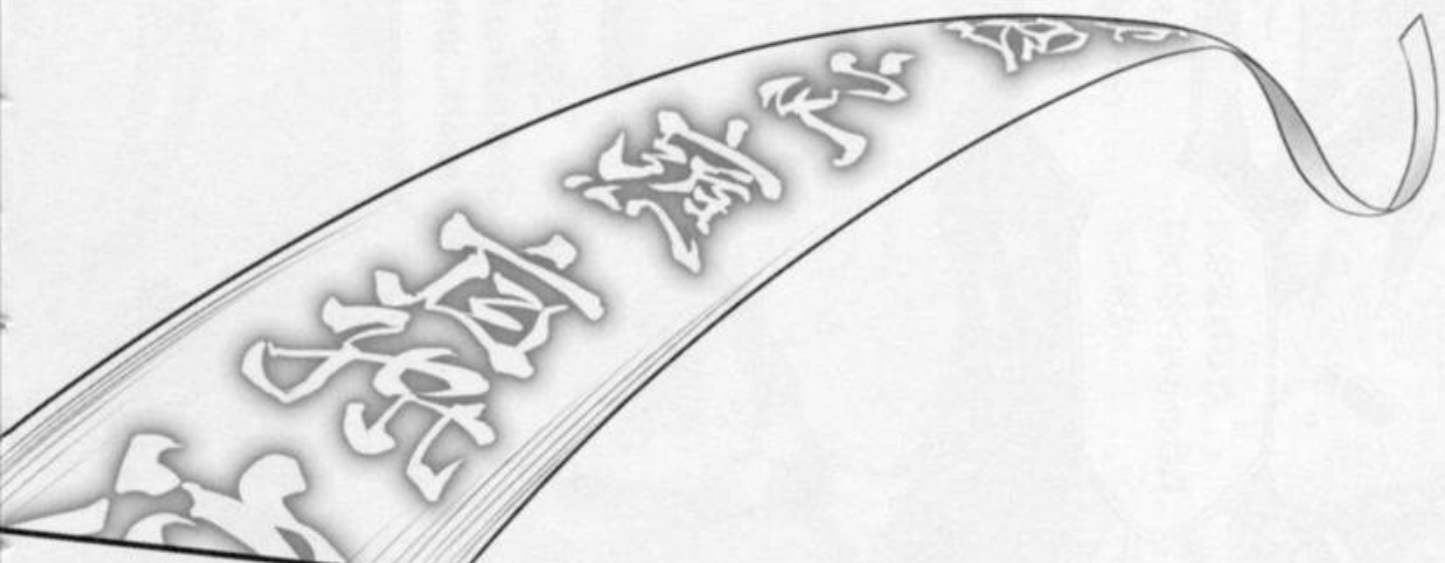
どこまで耐えられるか  
楽しみながら鬨り  
尽くしてくれる

……っ



……っ







……か  
す……み？

紅葉さん  
今のうぬぬい…

ははは



慰み物として  
存えさせて  
やろうと思うたが

どこまでも  
抗う気ならば

せめて  
鬼抜きの巫女として  
死なせてくれる



小賢しい  
真似をつ…

おの…れ  
小娘っ

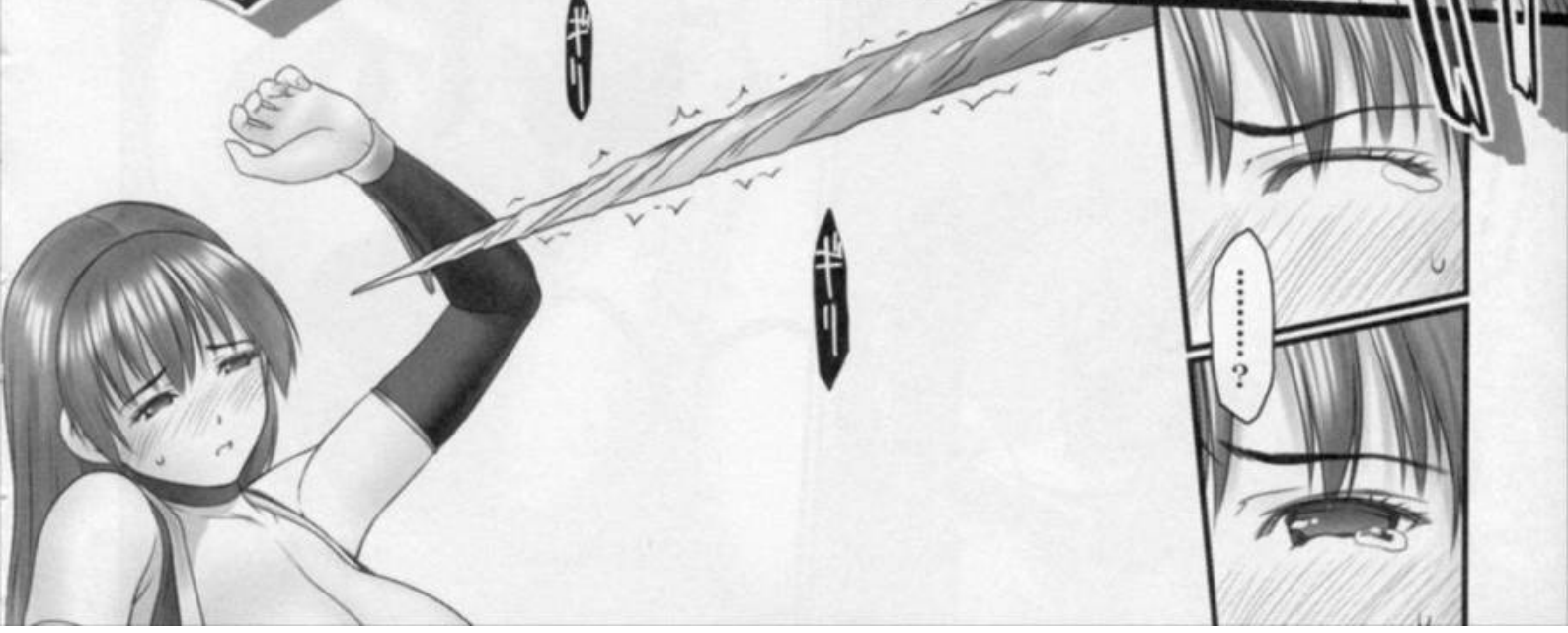
セキッ

!!





死ねいっ



.....







—— 続く



# 討姫伝

TOUKIDEN

-卷之貳-





エロ  
エロ  
おかしな話、だの？

エロ  
エロ  
おかしな話、だの？

好き好き紅葉ちゃん先生  
眼鏡の似合うエロ優しい  
先生がいいのです先生。

古文のセンセで水泳部の副顧問  
プールから上がる時は後ろに  
男子生徒が集中するという

のをもっと描きたかったけど  
もうホントに時間切れ・・・

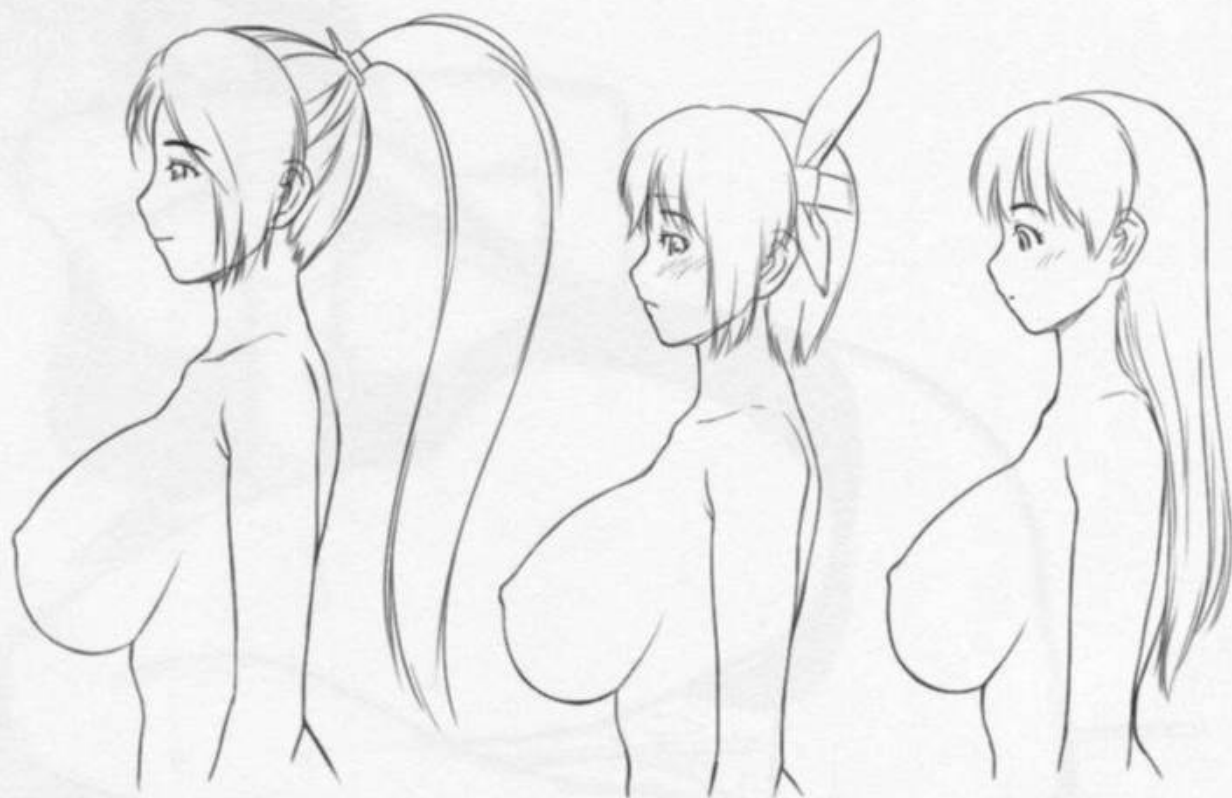
んしょ。





# ちぢくあべ

設定だと爆巨豊だけど原稿に描いた  
結局ど木も爆乳で差がねえぞアハハと  
言おうと思、たい



爆

爆

爆

設定の時点をすずに差がない。

# あとがき

こんにちわ、いるまかみりです。

久しぶりに分単位でギリギリです。

今回局部修正が非常に濃い処理に

なっていますが事情をお察してくだ

さい。なんだアレだ、いろいろ。

今回紅葉さんでいろいろ書きたい

事もあったんですがホントに時間

があー。

かみり





# 討姫伝

TOUKIDEN

- 卷之貳 -

発行サークル：へらぶな  
発行者：いるまかみり  
発行日：2013/12/31  
印刷：コーシン出版

連絡先

[hbgc@ninus.ocn.ne.jp](mailto:hbgc@ninus.ocn.ne.jp)

この本の一部または全部を  
無断で複製、改造、転載、  
またはデジタルデータにして  
使用、販売、配布することを  
固く禁じます。

へらぶな HP

<http://www5.ocn.ne.jp/~hbgc>

へらぶな e-mailaddress

[hbgc@ninus.ocn.ne.jp](mailto:hbgc@ninus.ocn.ne.jp)

いるまかみり Twitter

<http://twitter.com/irumakamiri>

あ  
コンカ  
ー

私  
に  
の  
テ  
ス  
ト  
を  
し  
て  
ま  
す  
か  
?

ア  
レ  
バ  
イ  
テ  
ス  
ニ  
ハ  
イ  
マ  
ス  
か  
?

ア  
ー

突然特に何ともない可K熱が発動しましたのでオカシカK可Kで何がひとつ。





たっ、  
キョロキョロ、  
何きとキョロキョロキョロ

ナ、ナと片付けないと  
帰れないぞ!!

ちゅと甲子!!  
何サホッソんの

俺もだー  
キョロキョロ  
ヤベー

ホーヤバ  
超ホッキ  
ソラ



モーホラッ  
まんに使わせて  
あげるかいら

ナ、ナとみんナ  
しま、こ片付け  
総ナせなナニヤ

ほ……っ  
外に……  
こぼし……  
また……挿除  
しなめし……

んふふ

ナチヤ

ナ、ナ  
世に……  
ナチヤ

何、何  
ナ……

ナチヤ

ナチヤ

ナチヤ

ナチヤ

ナチヤ

ナチヤ  
中……  
こんな校風  
(どんな)の  
学校に通いたか  
ったとぞ

はーっ



ここに見本誌シールを貼ります。  
皆さんはお手元のお好きなミク  
タヨーシールとが神戸牛ブラン  
ド証明シールを貼ってお楽しみ  
下さい。



ついにねんがんの  
Shantae  
日本版配信決定！！  
しましたね。楽しみ。

発行サークル：へら承な  
発行者：いるまがみり  
発行日：2013/12/31  
印刷：コーシン出版  
連絡先：  
hbgc@ninus.ocn.ne.jp

この本の一部または全部を  
無断で複製、改造、転載、  
またはデジタルデータにして  
使用、販売、配布することを  
固く禁じます。



# 討姫伝

TOUKIDEN

-卷之貳-